平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月13日

上場会社名　株式会社 ネクシィーズ　　上場取引所　東 大
コード番号　4346　URL　http://www.nexyz.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 近藤　太香巳
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役　管理本部長　(氏名) 松井　康弘　TEL 03-5459-7444

四半期報告書提出予定日　平成24年8月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	5,489	△0.5	41	―	60	―	270	―
23年9月期第3四半期	5,519	△8.2	△56	―	△64	―	△224	―

(注)包括利益　24年9月期第3四半期　294百万円　(―%)　23年9月期第3四半期　△225百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	213.76	―
23年9月期第3四半期	△177.11	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第3四半期	7,572	4,924	28.7
23年9月期	7,279	4,462	26.1

(参考) 自己資本　24年9月期第3四半期　2,172百万円　23年9月期　1,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年9月期	―	0.00	―		
24年9月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年 9月期の連結業績予想(平成23年10月 1日～平成24年 9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	1.1	300	170.2	270	365.8	400	967.1	315.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 ―社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 株式会社ネクシィーズ・コミュニケーションズ

(注)詳細は、添付資料P6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期3Q	1,341,364 株	23年9月期	1,341,364 株
② 期末自己株式数	24年9月期3Q	73,610 株	23年9月期	73,610 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期3Q	1,267,754 株	23年9月期3Q	1,267,754 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する詳細は、添付資料5ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……5
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……6
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……6
（２）追加情報 ……6
３．四半期連結財務諸表 ……7
（１）四半期連結貸借対照表 ……7
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……9
四半期連結損益計算書 ……9
四半期連結包括利益計算書 ……10
（３）継続企業の前提に関する注記 ……11
（４）セグメント情報等 ……11
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興需要や個人消費の堅調を背景に回復の兆しはあるものの、長期化する円高や株価の低迷、欧州諸国の財政不安など、依然として先行き不透明な状況が続いております。GDPの伸び率は、12年１月～３月に1.2%増となりました。消費者物価指数（生鮮食品を除く）は、前年同月比△0.2～0.2の間で推移し、デフレの状況が長く続いております。

このような状況下の下で、当社グループは、回復期を終えて更なる成長を目指す時期に差し掛かっており、新たな業務や新商材の取り扱いを開始すると同時に、経営資源の最適配分・有効活用を図り、セグメント間のシナジーを追求することでグループ収益力の更なる強化に努めております。

当社グループの事業の報告セグメントは、ブロードバンド事業、ソリューションサービス事業、文化教育事業の３つに区分されています。

ブロードバンド事業では、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供および加入希望者の獲得を行っております。

ソリューションサービス事業においては、自社で発刊している旅行ウェブマガジン「旅色」等の各種ウェブマガジンの提供の他、金融商品仲介業務、保険代理店業務等の企業の販売促進に関わる業務を行っております。

文化教育事業では、ハクビ総合学院による、きもの着付け教室等の運営や、呉服・和装小物等の販売が主な業務であります。

ブロードバンド事業においては、引き続き、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の新規加入希望者の獲得に注力したほか、次世代通信サービス「Nexyz.BB LTE」の提供を４月より開始し、サービスのラインナップを充実させてまいりました。

ソリューションサービス事業においては、自社で発刊している旅行ウェブマガジン「旅色」の広告掲載数が増加傾向にあることに加え、クライアント企業向けウェブマガジン制作業務の受託により安定した収入を得ることができました。また、その他の業務につきましても、概ね堅調に推移しております。

文化教育事業においては、和紙ちぎり絵学院西宮北口教室を新たに開講したほか、「第24回 上野の森美術館 和紙ちぎり絵創作展」や「東レシルックきもの展」を開催いたしました。また、きもの着付け教室を中心とした授業により、安定した授業料収入を得ることができました。

そのほか、特別損失が24百万円発生しております。一方で、第１四半期に当社連結子会社である株式会社ハクビの株式の一部を譲渡したことにより、特別利益465百万円を計上しております。

これらの結果、売上高5,489百万円（前年同四半期比0.5%減）、営業利益41百万円（前年同四半期営業損失56百万円）、経常利益60百万円（前年同四半期経常損失64百万円）となり、四半期純利益は270百万円(前年同四半期純損失224百万円)となりました。

当第３四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は次のとおりです。

[ブロードバンド事業]

ブロードバンド事業では、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の提供を行っております。

「Nexyz.BB」におきましては、４月から次世代高速モバイル通信「Nexyz.BB LTE」の提供を開始いたしました。既存のDSL回線に加え、光回線の「Nexyz.BB光」、高速ワイヤレスインターネット「Nexyz.BB WiMAX」、次世代高速モバイル通信「Nexyz.BB LTE」と、サービスのラインナップを充実させ、新規加入希望者の獲得に注力いたしました。

これらの結果、ブロードバンド事業は、売上高2,275百万円（前年同四半期比7.3%増）、セグメント利益38百万円（前年同四半期セグメント損失56百万円）となりました。

[ソリューション事業]

ソリューション事業では、様々な製品・サービスの販売促進を行っております。

ウェブマガジン業務においては、引き続き旅行情報を提供する月刊ウェブマガジン「旅色」の新号を発刊いたしました。「旅色」では特に、グルメ情報や地域別・旅行のテーマ別の特集等、内容の充実に注力しております。この結果、宿泊施設、飲食店、レジャー施設などの新規契約の増加と既存の年間契約の更新により、契約数が好調に推移しております。

また、ウェブマガジン制作ノウハウを活かした業務受託として、ウェディングマガジン「MARIA PREA（マリア・プレア）」、男性向けファッションウェブマガジン「GOODA（グーダ）」、楽天トラベル専用旅行マガジン「旅色Seasonal Style」の新号を制作いたしました。これにより、自社のウェブマガジン「旅色」の広告掲載料収入の増加に加え、クライアント企業から業務受託収入も得られております。

その他の販売促進支援業務については、好不調はあったものの概ね堅調に推移しております。

一方で、過去に獲得した「Yahoo! BB」や「おとくライン」のサービス契約者が継続利用することで得られる継続手数料は解約により自然減しております。また、業務用食品卸業支援の業務につきましては、平成23年４月より引き続き中断しており、再開の目処は明らかでありません。

これらの結果、ソリューションサービス事業は、売上高1,455百万円（前年同四半期比15.1%減）、セグメント利益302百万円（前年同四半期比26.2%減）となりました。

[文化教育事業]

文化教育事業では、きもの着付け教室等の運営を行っており、授業料や催事に伴う安定した収入を得ることができました。和紙ちぎり絵学院を、関東以外の地域にも事業展開させていくことを目的として、兵庫県に和紙ちぎり絵学院西宮北口教室を新たに開校したほか、「第24回 上野の森美術館 和紙ちぎり絵創作展」や「東レシルックきもの展」を開催いたしました。また、特別実施した呉服販売会の売上が好調であったため、呉服販売収入が増加いたしました。これらの結果、文化教育事業は売上高1,813百万円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益45百万円（前年同四半期比358.8%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末の総資産は7,572百万円となり、前連結会計年度末に比べて292百万円の増加となりました。

流動資産は4,225百万円となり、前連結会計年度末に比べて382百万円の増加となりました。繰延税金資産が171百万円、未収入金が87百万円が減少した一方で、現金及び預金が348百万円、売掛金が258百万円増加したことによるものであります。

固定資産は3,346百万円となり、前連結会計年度末に比べて90百万円の減少となりました。これは主に、「Nexyz.BB」の老朽化したサーバー設備の入れ替えに伴う建設仮勘定79百万円が発生した一方で、ハクビ株式の売却等に伴いのれんが65百万円が減少したことや、投資有価証券32百万円、敷金26百万円がそれぞれ減少したこと、有形固定資産の減価償却累計額49百万円が増加したことよるものであります。

流動負債は2,571百万円となり、前連結会計年度末に比べて142百万円の減少となりました。これは主に、前連結会計年度に発生していた営業所や、ハクビの校舎移転に伴う原状回復工事の未払金の支払いがあったこと等により、未払金が131百万円減少したことによるものであります。

固定負債は76百万円となり、前連結会計年度末に比べて26百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が21百万円減少したことによるものであります。

当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は4,924百万円となり、前連結会計年度末比461百万円の増加となりました。その主な内訳は以下のとおりであります。

四半期純利益を270百万円計上したことにより、株主資本が270百万円増加いたしました。さらに、ハクビ株式の一部を売却したこと等に伴い少数株主持分が189百万円増加しております。

なお、このほかに当社は、平成24年２月８日付で資本金を3,464百万円、資本準備金を3,305百万円それぞれ減少し、減少した金額をその他資本剰余金に振り替えたのち、さらに全額を繰越利益剰余金に振り替えて欠損填補を行っております。

以上により流動比率は164.3％となり前連結会計年度末比22.7ポイント増加いたしました。株主資本比率は、28.7％となり前連結会計年度末比2.6ポイント増加いたしました。時価ベースの株主資本比率は32.6％となり前連結会計年度末比1.9ポイント低下いたしました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の各事業の取り組み、業績予想については、以下のとおりであります。

[ブロードバンド事業]

ブロードバンド事業では、インターネット接続サービス「Nexyz.BB」の加入希望者の獲得に注力すると同時にサービスの拡充やプランの見直し等を行っております。

今後の成長基盤を確立するため、平成25年度の新卒採用のインターンを中心に当第３四半期から人員を増員し営業体制を強化いたしました。これにより、一時的に売上原価として計上される営業人員の人件費の先行が見込まれるものの、中長期的には安定したISP料金収入に加えて、契約獲得時にインフラ提供会社から得られる受付手数料が増加する見込みであります。

[ソリューションサービス事業]

ソリューションサービス事業では、ウェブマガジン業務において、引き続き旅行ウェブマガジン「旅色」への広告掲載やウェブマガジン制作の業務受託を行ってまいります。広告掲載においては、既存顧客の増加に伴い年間契約の更新数も増加し、業績が安定拡大傾向にあります。

その他の販売促進支援業務については、好不調はあるものの概ね堅調に推移する見込みであります。今後は事業全体において、さらに新たな企画や関連業務を充実させ、業容拡大を図ってまいります。

[文化教育事業]

文化教育事業では、きもの着付け教室の運営による安定した収入と、季節や時期に応じたイベントや展示会による臨時的な収入が見込まれます。教室の段階的なリニューアルや、わかりやすい料金体系で着物がなくても着付けが受講できる「ぷらっとパスポート」の提供を行い、引き続き生徒数の維持拡大に向けて取り組んでまいります。

なお、同事業では第４四半期会計期間（７月～９月）に展示会等の催事が重なるため収益の大半が集中することが見込まれます。

この結果、通期でのグループ全体の損益は、売上高7,500百万円、営業利益300百万円、経常利益270百万円、当期純利益400百万円を予想しております。

＜業績等の予想に関する注意事項＞

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第３四半期会計期間において、平成24年４月１日付で当社の連結子会社である株式会社ネクシィーズ・コミュニケーションズは、当社の連結子会社である株式会社Nexyz.BBを存続会社とする吸収合併により解散いたしました。これにより、株式会社ネクシィーズ・コミュニケーションズを連結の範囲から除外しております。

（２）追加情報

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年９月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,512,997	1,861,813
売掛金	1,010,728	1,269,484
商品	108,758	102,672
未収入金	590,711	503,232
その他	651,935	522,072
貸倒引当金	△32,786	△34,046
流動資産合計	3,842,345	4,225,229
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品（純額）	216,334	178,115
その他（純額）	235,532	314,966
有形固定資産合計	451,867	493,081
無形固定資産		
のれん	190,755	124,862
その他	192,538	175,733
無形固定資産合計	383,293	300,595
投資その他の資産		
投資有価証券	1,889,752	1,857,481
敷金及び保証金	411,047	384,488
その他	381,544	391,500
貸倒引当金	△80,111	△80,264
投資その他の資産合計	2,602,233	2,553,206
固定資産合計	3,437,394	3,346,883
資産合計	7,279,739	7,572,112
負債の部		
流動負債		
買掛金	293,223	313,316
短期借入金	1,200,000	1,200,000
未払金	682,768	551,179
解約調整引当金	212,193	113,449
その他	325,491	393,153
流動負債合計	2,713,678	2,571,099
固定負債		
その他	103,770	76,812
固定負債合計	103,770	76,812
負債合計	2,817,448	2,647,912

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年９月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,653,660	1,189,156
資本剰余金	4,439,468	1,134,423
利益剰余金	△6,828,638	211,906
自己株式	△339,926	△339,926
株主資本合計	1,924,564	2,195,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△23,763	△22,648
その他の包括利益累計額合計	△23,763	△22,648
新株予約権	―	398
少数株主持分	2,561,488	2,750,888
純資産合計	4,462,290	4,924,200
負債純資産合計	7,279,739	7,572,112

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年６月30日）
売上高	5,519,222	5,489,883
売上原価	3,319,555	3,278,167
売上総利益	2,199,667	2,211,715
販売費及び一般管理費	2,256,380	2,170,545
営業利益又は営業損失（△）	△56,713	41,170
営業外収益		
受取利息	7,533	2,565
受取配当金	5,364	125
持分法による投資利益	5,995	－
投資事業組合運用益	－	6,681
その他	7,118	13,930
営業外収益合計	26,011	23,302
営業外費用		
支払利息	4,140	4,227
投資事業組合運用損	27,604	－
その他	2,414	207
営業外費用合計	34,159	4,435
経常利益又は経常損失（△）	△64,861	60,037
特別利益		
過年度損益修正益	64,040	－
関係会社株式売却益	37,570	465,348
その他	1,834	2
特別利益合計	103,446	465,351
特別損失		
固定資産除却損	34,786	8,695
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	57,244	－
和解金	－	15,000
事業所移転費用	6,213	595
災害による損失	39,980	－
その他	17,467	477
特別損失合計	155,691	24,767
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△117,106	500,620
法人税、住民税及び事業税	39,662	34,998
法人税等調整額	66,997	171,828
法人税等合計	106,660	206,826
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△223,766	293,793
少数株主利益	764	22,797
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△224,530	270,996

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△223,766	293,793
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,676	1,115
その他の包括利益合計	△1,676	1,115
四半期包括利益	△225,442	294,908
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△226,206	272,111
少数株主に係る四半期包括利益	764	22,797

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自 平成22年10月１日 至 平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額
	ブロードバンド事業	ソリューションサービス事業	文化教育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,117,278	1,684,887	1,717,056	5,519,222	―	5,519,222
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,417	29,467	31,297	63,182	△63,182	―
計	2,119,696	1,714,355	1,748,353	5,582,405	△63,182	5,519,222
セグメント利益又は損失(△)	△56,110	409,668	9,809	363,366	△420,079	△56,713

（注）１．セグメント利益の調整額△420,079千円には、セグメント間取引消去539千円、各報告セグメントに配分していない全社収益165,398千円、全社費用△577,880千円、各報告セグメントに配分していないのれん償却額△8,137千円が含まれております。
なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自 平成23年10月１日 至 平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額
	ブロードバンド事業	ソリューションサービス事業	文化教育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,263,474	1,428,618	1,797,790	5,489,883	―	5,489,883
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,629	27,135	15,916	54,682	△54,682	―
計	2,275,104	1,455,753	1,813,707	5,544,565	△54,682	5,489,883
セグメント利益	38,697	302,165	45,005	385,868	△344,698	41,170

（注）１．セグメント利益の調整額△344,698千円には、セグメント間取引消去2,444千円、各報告セグメントに配分していない全社収益173,052千円、全社費用△511,871千円、各報告セグメントに配分していないのれん償却額△8,325千円が含まれております。
なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年２月８日付で、会社法第447条第１項及び第448条第１項の規定に基づき、資本金及び資本準備金を減少し、その他資本剰余金に振替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。この結果、当第３四半期連結累計期間において資本金が3,464,503千円、資本準備金が3,305,044千円減少し、当第３四半期連結会計期間末において資本金が1,189,156千円、資本剰余金が1,134,423千円となっております。